

日本医学会分科会活動報告

一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会
理事長 豊嶋 崇徳

- I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。

造血細胞移植および細胞治療レジストリの構築と活用

「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」として、関連法人である日本造血細胞移植データセンターと共同で実施している。造血細胞移植症例のレジストリとしては 1991 年からのデータの蓄積があるが、2018 年 5 月の研究計画書改定により細胞治療を調査対象に加え、日本造血細胞移植データセンターによるデータ収集が行われている。細胞治療レジストリの構築に際しては、国際的なデータシェアリングを念頭に、CIBMTR をはじめとする海外の関連組織、関連学会と連携・調整した上でデータ収集項目を定義した。

レジストリの活用に関しては、本学会のワーキンググループによる研究利用の他、細胞治療レジストリに関しては、日本造血細胞移植データセンターと製薬企業の契約による細胞治療製品の製造販売後データベース調査にも利用されており、本学会の掲げるミッション（※1）に即した活用がされている。

※1「私たちは、造血細胞移植や免疫・血液細胞治療のプロフェッショナルな医療人として一丸となり、患者さん、他の学術団体、民間団体、企業、行政とも連携を密にして、難治性の血液疾患などの患者さんに対し、有効で安全な治療法を届けることを目的に活動します。」

- II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載してください。

- ・他学会と共同でのガイドラインの作成（日本がん口腔支持療法学会と連携した口腔ケアのガイドライン作成、日本骨髄バンク・日本小児血液・がん学会・日本輸血・細胞治療学会と連携した造血幹細胞採取ガイドラインの作成 ※いずれも作成途中）
- ・日本輸血・細胞治療学会と共同での細胞管理士認定制度の運営
- ・日本血液学会が発出している「新型コロナウイルス感染症蔓延下における血液疾患診療について」における造血幹細胞移植、免疫細胞療法に関する記述およびワクチン接種に関する記述の共同執筆